

札幌市都市計画マスタープランの見直しに係る
まちづくりワークショップ
実施報告書

平成27年1月

札幌市市民まちづくり局都市計画部都市計画課

1. 市民ワークショップの概要

(1) 目的

- 札幌市都市計画マスタープランの見直しに関するアンケート（平成26年9月実施）の回答者を対象に参加者を募集。
- 市民が考える市街地の魅力や課題、今後必要な取り組みについて意見をいただき、都市計画マスタープランをはじめとする都市づくりの将来像を描くための視点として活用していくことを目的とする。

(2) 方法

- 参加を応募した方々の中から、年齢、性別、居住区などについて偏りがないうように配慮した40名を選出し参加依頼。
- 5つのテーブルに分かれて市街地ごと（都心・地下鉄駅周辺・郊外住宅地）の良いところ、悪いところ、今後必要な取り組みについて意見を出し合いました。
- また、都市づくりに関する情報提供として、ワークショップの前段で事務局（札幌市）からオリエンテーションを行ったほか、開催3日前（12月3日）にワークショップ参加予定者を対象とした事前勉強会を開催しました。

ワークショップの目的

札幌の都市づくりの将来像を描くための視点

ワークショップにおける議論内容を取りまとめ

まちの魅力

これからの取組み

札幌が目指す
まちの将来イメージ

まちの課題



都市の現状と課題について説明

- 日時：平成26年12月6日（土）
10:00～12:00
- 場所：札幌市民ホール 第1・2会議室
- 参加者数：28名



グループ討議



グループごとの討議結果発表

2. 各テーブルの討議結果

【1班】

◆札幌市都市計画マスタープランに係るまちづくりワークショップ まとめ【1班】

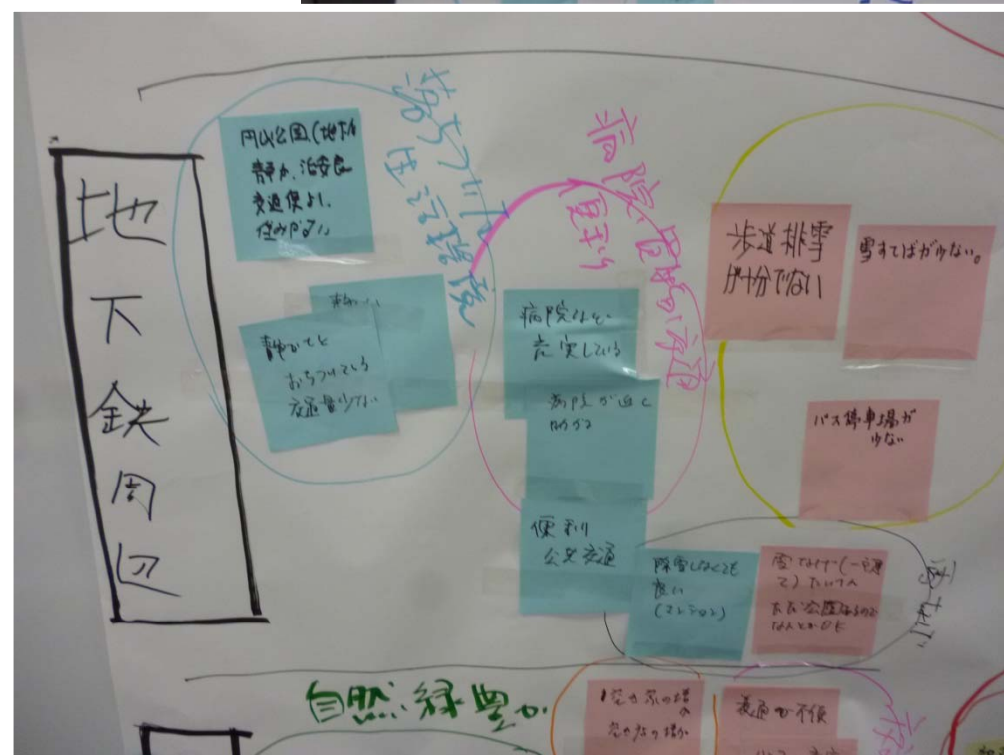
参加者5人：川本、安池、杉本、河内、佐々木

札幌市：斉藤、ファシリテーター：金（日本データサービス）

	強み・長所	弱み・短所	今後必要なこと (これからの取組みなど)
都心	<ul style="list-style-type: none"> 動きやすくほとんどの目的を都心部で果たすことが出来る。 町内会はすぐまとまっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 買い物が不便（スーパーがない）。 都心の大型店がなくなり、跡地にパチンコ店が入るのはどうかと思う。 大通駅周辺に二重駐車の見学バスがいるため、渋滞している。 自転車移動、駐輪等のマナーが悪い。 都心、駅周辺など人が集まるところはマナーが悪い。 	<ul style="list-style-type: none"> マナーは一人一人が守ること。 イベントが他人事になっているため、市民が参加して作り上げる仕組みがあると良い。 札幌市にとって観光は資源なので、景観やまちのバランス問題は多くの人の意見を聞くべき。
地下鉄 駅周辺	<ul style="list-style-type: none"> 駅周辺（JR 手稲駅）の商店街は昔ながらの雰囲気がある。 駅周辺（新さっぽろ）には、商業施設及び病院などが多くほとんどの用事は済まされる。JR、地下鉄駅が直結して利便性が良く乗り換えに便利。また、大きなホテルに毎日観光客の大型バスの出入りできわっている。駅からひばりが丘まで循環バスが走っていて便利。 小学校が近くて、周辺に子どもがたくさんいる。 スーパーが近くにある。 都心とJR駅にも近いので便利。 	<ul style="list-style-type: none"> JRの駅、特に無人駅や商業施設がほとんどないところ（厚別駅）は夜遅くなると真っ暗で怖い。 駐車場が不便。 緑が少ない。 白石区役所の建て替えに伴い、今以上に遠くなると不便に感じる。 人のお付き合いが少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 駅周辺の淋しい場所に交番があったらいい。 公的な駐車場があればよい。 エリア毎に駐車スペースを整備。 行政、医療、飲食についてそれぞれエリアを決めて整理すると利用しやすい。 白石区役所の建て替えに伴い、今以上に遠くなると不便に感じる。バスの本数が増えると助かる。 道路沿いにお花などを植えるとよい。 交通機関の利便性を向上。
郊外 住宅地	<ul style="list-style-type: none"> まちがきれいで町内会が活発。 自転車を利用するのに便利（白石区平和通から中島公園、その他、豊平川の河川道路を利用）。 	<ul style="list-style-type: none"> 道路計画が実態に合っていない。（信号、横断歩道、高架） 名ばかりの歩道、真ん中に電柱があり、工事の後の処理が悪くガタガタ。 自転車の移動は車道が怖く、運転する側にも自転車は危険。 冬は雪捨て場がないので、苦労している。 雪捨ての浄化槽を増やしてほしい。 空き家・空地が多くなって、荒れてきている。 町内は90代、80代、70歳代でこれから大変。 人の繋がりが薄い。 ・地域安全に不安。 	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな事業を横の連携を確立し地域の実態を広く把握するために市民の意見を聞くべき。 地域力向上のため町内会にも高度な自治権を認めていくのはどうか。 行政に参加する機会が増えるといいと思う。
共通	----	----	<ul style="list-style-type: none"> 町内会の役員をいろいろな世代の人でやってみる。 空き家などを利用して集える場所を作ってほしい。 若い人も集まる。 ボランティアを育てる方法を考えたらよい。 これから高齢化社会では60～70代がリーダーになって年寄りを守っていける社会を祈っている。 高齢者の集える場所がもっと増えるとよい。

2. 各テーブルの討議結果

【2班】



2. 各テーブルの討議結果

【2班】

◆札幌市都市計画マスタープランに係るまちづくりワークショップ まとめ【2班】

参加者5人：齊藤、藤川、齊藤、小松、林

札幌市：山本、ファシリテーター：中村（日本データサービス）

	強み・長所	弱み・短所	今後必要なこと (これからの取組みなど)	その他
都心	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通が利用しやすい いろいろな店があり買い物が便利 都心なのに大きな公園がある 大通公園の緑が多い 	<ul style="list-style-type: none"> 駅前にある空き地が良好な景観を阻害している 大型量販店などの看板が良好な景観を阻害している 乗用車の乗り入れが多い 	<ul style="list-style-type: none"> 大通公園を活かしたシーズン毎のイベントの実施 大通公園などの樹木・樹種を増やし、さらなる緑化と季節感の演出 	----
地下鉄 駅周辺	<ul style="list-style-type: none"> 交通量が少なく落ち着いた生活環境が保たれている 病院や買い物など日常生活に必要な施設が近くにあり便利 公共交通が利用しやすい 除雪をしなくても生活ができる（マンション） 	<ul style="list-style-type: none"> 歩道の排雪が十分でないため、歩きづらい 雪捨て場が少ない バス停の間隔が広い 家の除排雪が大変（一戸建て） 	----	----
郊外 住宅地	<ul style="list-style-type: none"> 街区公園などの小公園が多い 自然や緑が豊か 落ち着いた生活環境 歩いて行ける距離に大型ショッピングセンターがあり便利 	<ul style="list-style-type: none"> 空き家や空き店舗が増加している 公共交通が不便で、バスの便数も少ない（特に西税務署へ行く際の公共交通） 	<ul style="list-style-type: none"> バスの便数を増加する（1時間に1本は少なく、2~3本程度にするとよい） 	----
共通	----	<ul style="list-style-type: none"> 公園の内容が画一的である 歩いて移動するときに休憩スペースが必要となるがきれいに維持されていないものが多く使う気になれない 	<ul style="list-style-type: none"> 公園のリフレッシュ工事の際に市民参加型とするなど多様な公園の実現 清潔な休憩スペースの維持 歩いても暮らしやすい生活環境の整備 自転車の利用しやすい環境整理（車から自転車利用への誘導） 開拓の歴史や歴史的建物などをPRし、多くの人に知ってもらい、愛着を持ってもらう 	<ul style="list-style-type: none"> 価値観を変えられると、楽しく暮らせるようになる。（60歳を機に車を使わない生活に切り替えたが、全然不便を感じず健康でいきいきと生活ができている。周りからはいろいろ不便だよとか言われるが、価値観を変えると生活スタイルを変えても楽しく過ごせる）

2. 各テーブルの討議結果

【3班】

札幌市都市計画マスタープランに係るまちづくりワークショップ まとめ【3班】

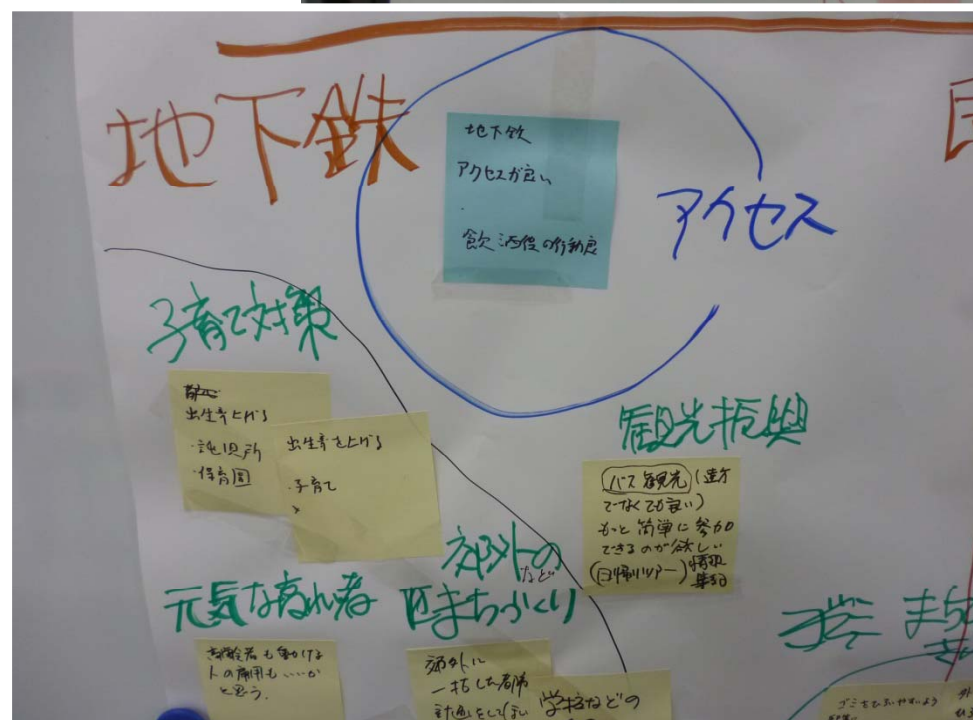
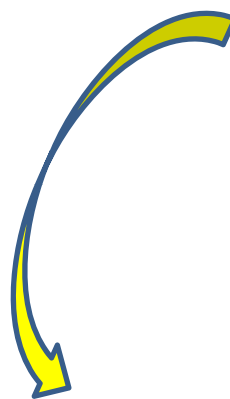
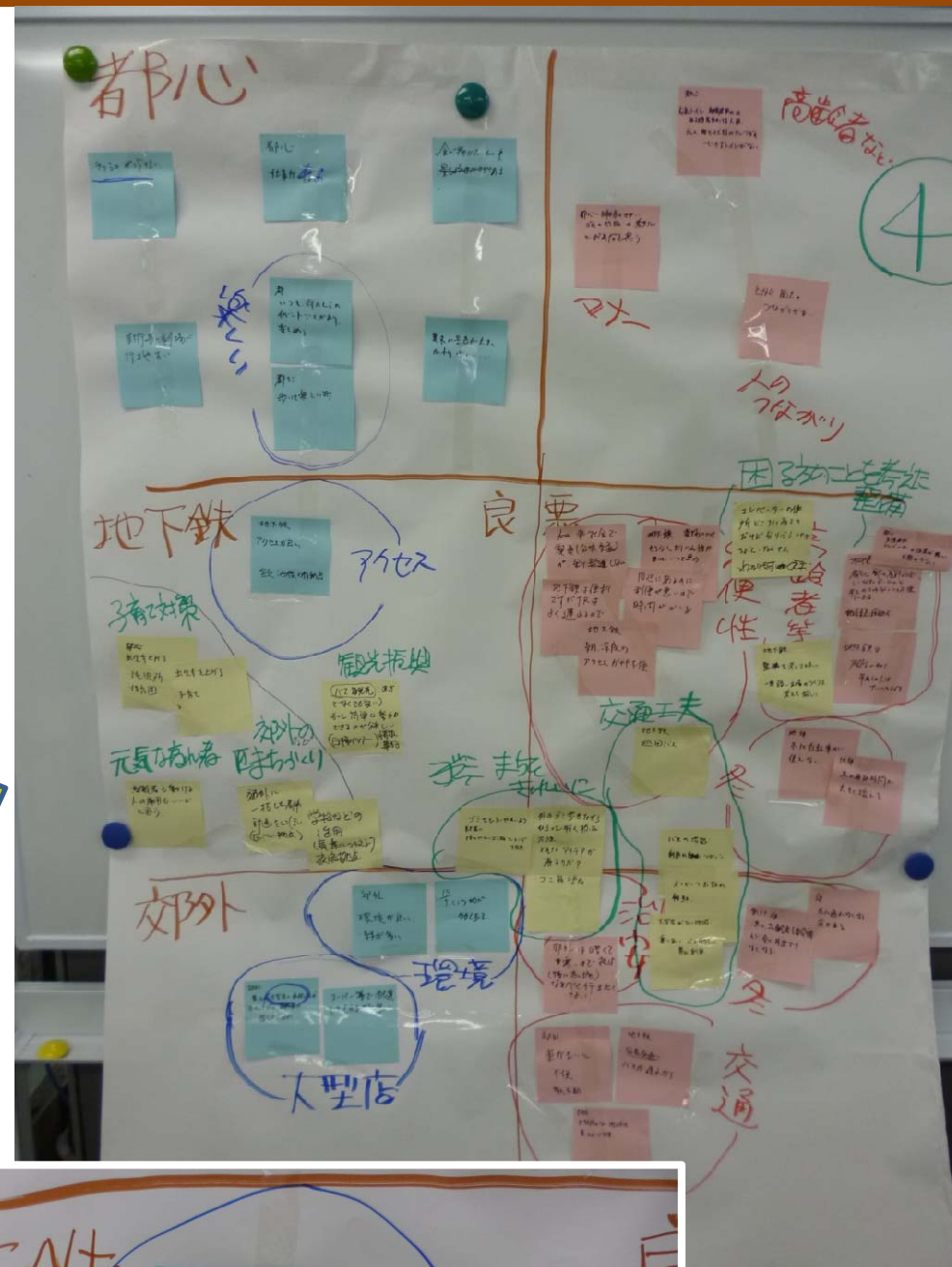
参加者6人：中根、萩原、半田、坪坂、大岡、小林

札幌市：酒井、ファシリテーター：大島（日本データサービス）

	強み・長所	弱み・短所	今後必要なこと (これからの取組みなど)	その他
都心	<ul style="list-style-type: none"> 地下街が楽しい 日本を代表する雪まつりがある 図書館などの文化施設が多くある 3条通のコミュニティスペースがあってよい 	<ul style="list-style-type: none"> JRのホームの行先が統一されていない 雪まつりがPR不足である 	<ul style="list-style-type: none"> 雪まつりのPR方法に工夫が必要 路面電車のループ化による公共交通の利用促進とCO₂対策 コミュニティスペースがもっと欲しい 	----
地下鉄 駅周辺	<ul style="list-style-type: none"> 地下鉄駅周辺部は通勤や買物に便利である (仕事を探しやすい環境である) 	<ul style="list-style-type: none"> 真駒内駅周辺は買物・通院・遊びが不便 バス乗り場が複雑 	<ul style="list-style-type: none"> バスの周回方法を改善する (乗り場を分かりやすく改善) バスの行先の明示と分かりやすいパンフレットの作成 空港への便を良くすることで、観光客が来やすい環境を創造する 駐車場整備による公共交通の利用促進 	----
郊外 住宅地	<ul style="list-style-type: none"> 水不足になることが無い 道路が広くて安心して歩くことができる 緑地や公園が近く短時間で自然に親しめる 	<ul style="list-style-type: none"> まちの風景がどこも同じ バスの便数が少ない、もっと高頻度になれば利用が増えるのではないか 雪が多くて見通しが悪い 車の渋滞（特に冬） 郊外からの都心アクセスが遠い 空き家が防犯上よくないので対策が必要 最近では犯罪が多い 	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通の充実による利便性の向上 自家用車を使わなくても移動できるようにアピールが必要 雪対策として予算を多くとり、生活道路の除雪水準をもっと上げられないか 郊外にこれ以上市街地を拡大しない 空き家を安く、子育て世代に貸してほしい 	----
共通	<ul style="list-style-type: none"> 北海道の中心都市である 札幌市全体で芸術・文化施設・スポーツ施設が多い 大都市に雪が降る 地震が少ないまちである 児童会館が充実していてよい 	<ul style="list-style-type: none"> これと言った観光地が意外とない 野球場が多いので、もっと他のスポーツにも目を向けて欲しい 	<ul style="list-style-type: none"> 最低賃金UPと雇用を増やす 高齢化社会に向けてお年寄りにやさしい、室内のスポーツやイベントができる施設を増やす ニーズに合った公共施設の配置と運営が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設の自然エネルギーの利用

2. 各テーブルの討議結果

【4班】



2. 各テーブルの討議結果

【4班】

◆札幌市都市計画マスタープランに係るまちづくりワークショップ まとめ【4班】

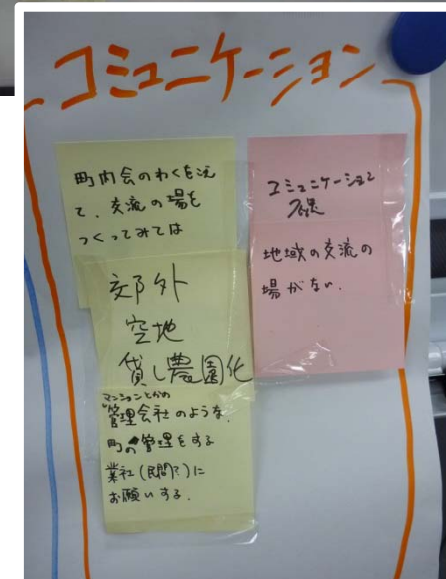
参加者6人：梶川、村岸、牧野、和田、堀、今野

札幌市：山、ファシリテーター：永井（日本データサービス）

	強み・長所	弱み・短所	今後必要なこと (これからの取組みなど)	
都心	<ul style="list-style-type: none"> 他都市と比べて交通面の混雑が少ない 仕事の場が多い 芸術等の文化 食の魅力 季節により変化する景観 楽しめる場（イベント、歩いて楽しい） 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者や障がい者、子どもなどに配慮したトイレが少ない 隣人など、人のつながりが少ない 自転車やごみなどのマナーが悪い 	<ul style="list-style-type: none"> トイレやエレベーターなど、高齢者、障がい者、子どもなどの弱い立場の人のことを考えた整備 きれいなまちにしていけるためのゴミ対策（ごみ箱の設置、ごみ拾いの道具を設置） 	<ul style="list-style-type: none"> 交通利便性の向上のための工夫（地下鉄駅からの巡回バス、バスの増発や利用促進、オフピーク出勤、乗り合いバス・タクシー等）
地下鉄 駅周辺	<ul style="list-style-type: none"> 地下鉄へのアクセスがよい 	<ul style="list-style-type: none"> 交通利便性が十分でない（JRの遅れ、朝・深夜の時間帯のアクセス等） 買い物の利便性が不十分 高齢者等への配慮が不十分（EVが少なく位置がわかりにくい、階段が多い） 冬の交通利便性が不十分（通勤時間がかかる、自転車が利用できない） 		
郊外 住宅地	<ul style="list-style-type: none"> 緑や景勝地が多く、環境がよい 大型店等のサービス（送迎バス、配達）により、生活利便性を確保 	<ul style="list-style-type: none"> 冬の交通利便性が不十分（通勤時間がかかる、自転車が利用できない、道が通れない） 冬は高齢者が外出しにくい環境 交通利便性（地下鉄・バスの遅れ）、生活利便性（大型店がない地域）が不十分 夜間、暗くなるため、治安の面で不安 	----	
共通	----	----	<ul style="list-style-type: none"> 出生率を上げるための対策が重要（託児所、保育園、子育て支援） 元気な高齢者の活用 郊外住宅地に拠点を設けるなど、計画的なまちづくり 学校などを活用して、気軽に利用でき、地域で交流できる場の創出 観光振興が重要であり、バス観光をもっとうまく活用すべき（身近な場所のツアー、情報集約） 	

2. 各テーブルの討議結果

【5班】



2. 各テーブルの討議結果

【5班】

◆札幌市都市計画マスタープランに係るまちづくりワークショップ まとめ【5班】

参加者6人：田村、長嶺、堀田、松田、元茂、山本

札幌市：西村、ファシリテーター：山下・藤井（日本データサービス）

	強み・長所	弱み・短所	今後必要なこと (これからの取組みなど)	その他
都心	<ul style="list-style-type: none"> ・まちの大きさが適当で住みやすい。 ・札幌駅や大通周辺で買物が済むので便利。 	<ul style="list-style-type: none"> ・創成川の東側から都心までの公共交通が少なく、アクセスが悪い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・路面電車は地上を走っており、他の公共交通に比べて店舗に入りやすいなどの長所があるので、もっと使ってもらえるように効率的な運用が必要。 ・高断熱な建物や太陽光・排熱・ヒートポンプの活用など、環境配慮が必要。 ・カーシェアリングの促進が必要。 	----
地下鉄 駅周辺	<ul style="list-style-type: none"> ・スーパーや銀行、郵便局などの店舗が近く、買物や通院の利便性が良い。 ・交番が近く、パトロールが頻繁に行われるので安心できる。 ・歩道などの除雪が良好。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高層マンションが乱立しており、個人宅の庭などの緑が減少している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学生アパートと老人住宅を併設するなど、若い人と高齢者が関わる必要がある場が必要。 ・LEDの街灯を増やすなどで、通勤や帰宅・下校時に安心できる環境が必要。 ・カフェや雑貨店などとコラボした、若い人でも気軽に楽しめるような地下鉄のスタンプラリーがあると良い。 ・カーシェアリングの充実が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マンションが多く転入者には便利だが、将来住む人がいなくなったときのことを考えると不安。
郊外 住宅地	<ul style="list-style-type: none"> ・自然が多く、夏は環境が良い。 ・自転車道が市内から郊外まで伸びており、便利。 ・近所の人優しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子供を一人で歩かせにくいなど、安全面が心配。 ・子供の遊び場が足りない。 ・マイカーがないと不便。 ・大雨の際、洪水が心配。 ・冬は除雪が大変で、高齢者の外出が不安。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大きなショッピングセンターだけでなく、小さな商店もあった方が良い。 ・郊外の空き地を貸し農園にできると良い。 ・地域の管理を、コミュニティ活動の企画なども含めてマンションの管理会社等の民間事業者任せられると良い。 ・高齢者が冬でも快適に歩ける環境が必要。 ・バスを小規模化して本数を増やすなどで、郊外住宅地からのアクセスの改善が必要。 ・道外便は新千歳空港に集中しているため、丘珠空港を有効活用できると良い。 	----
共通	<ul style="list-style-type: none"> ・他の政令指定都市に比べて、自然が多い。 ・計画的に整備されており、街並みが綺麗。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通機関の運賃が、他都市に比べて高い。 ・地域の高齢者等が交流できる場が少ない。 ・夜間、茂みや公園などの暗がり、若い女性が危ない目に会いやすい。 ・地域のコミュニケーションが不足している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・治安の悪い場所は、パトロールを強化してほしい。 ・生活について、なんでも相談できるコールセンターがあると良い。 ・公共交通をもっと使ってもらうため、料金を無料化できると良い。 ・ローカルな名所巡りなど、年代を超えた企画で地域の交流を促進してほしい。また、町内会の枠を超えた交流があると良い。 ・子育て世帯と高齢者が関わることでできるショッピングセンターがあると良い。 ・排雪を重点的・効率的に行う他、空中歩廊を設けるなど、冬期における利便性を向上してほしい。 ・除排雪のための流雪溝があると良い。 ・雪を活用して、冬でも外出したくなるイベントが増えると良い。 ・省エネに対する補助を充実させてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学の近くに住んでいるため、学生がうるさい。 ・高齢になった際、介護等に不安がある。

3. 意見のまとめ

◆札幌市都市計画マスタープランに係るまちづくりワークショップ まとめ【全体】

	強み・長所	弱み・短所	今後必要なこと（これからの取組みなど）
都心	<ul style="list-style-type: none"> ○住みやすい、交通混雑が少ない、公共交通が利用しやすい ○札幌駅や大通周辺で買物が便利。地下街が楽しい ○食や芸術・文化（図書館含む）、季節の景観、大通公園の緑が多い ○仕事の場が多い ○イベントなど楽しめる場、雪まつり、北3条通、大きな公園 ○町内会はまとまりが良い 	<ul style="list-style-type: none"> ○創成川の東側から都心までの交通アクセスが悪い ○自転車やごみなどのマナーが悪い ○高齢者等への配慮が不十分（トイレ） ○雪まつりのPR不足 ○景観阻害要因：駅前空地、量販店の看板 ○スーパーが少ない ○大型店がパチンコ店に変わる ○観光バスによる渋滞、乗用車の乗り入れが多い ○近隣とのつながりが無い 	<ul style="list-style-type: none"> ○お年寄りなどが使いやすいトイレ ○ごみ対策、一人ひとりがマナーの遵守 ○路面電車のループ化とPR・利用促進 ○高断熱な建物や太陽光・排熱・ヒートポンプの活用など、環境配慮が必要 ○カーシェアリングの促進が必要 ○コミュニティスペースを増やす ○大通公園のイベント、緑化の充実、雪まつりのPR方法の工夫 ○市民参加でイベントをつくりあげる、多くの人の意見を聞いた観光・景観のまちづくり
地下鉄駅周辺	<ul style="list-style-type: none"> ○買物・通院などの利便性が高い ○地下鉄へのアクセスが良い ○交番が近く、安心できる ○歩道などの除雪が良好、除雪なしで生活できる ○JR手稲駅の商店街は昔ながらの雰囲気元気 ○新札幌駅周辺は商業施設及び病院などが多く殆どの用事は済ませられる ○新札幌駅は乗換・循環バスが便利（新札幌駅～厚別ひばりが丘） ○新札幌駅周辺ホテルのにぎわい 	<ul style="list-style-type: none"> ○個人宅の庭などの緑が減少 ○高齢者等への配慮不足（EV、階段） ○冬に通勤時間がかかる ○除排雪が大変、雪捨て場が少ない ○真駒内駅周辺は買物・通院・遊びが不便 ○駐車場が不便 ○人との付き合いが少ない ○マンションが多く転入者は便利だが、将来住む人がいなくなった時を考えると不安 	<ul style="list-style-type: none"> ○お年寄りなどが使いやすいEV、階段 ○学生アパートと老人住宅の併設など、若い人と高齢者が関わる場 ○LEDの街灯などで、通勤や帰宅・下校時に安心できる環境が必要 ○カーシェアリングの充実が必要 ○カフェや雑貨店などとコラボした、若い人も楽しめる地下鉄のスタンプラリー ○交通利便性の向上のための工夫（地下鉄駅からの巡回バス、バスの増発や利用促進、バス乗り場の改善、空港便の改善、オフピーク出勤、乗合バス・タクシー、駐車場整備による公共交通利用促進） ○人気のない箇所に交番 ○行政、医療、飲食など利用しやすい機能配置 ○道路沿いの花植え、ごみ対策
郊外住宅地	<ul style="list-style-type: none"> ○自然や緑、小公園が多く、環境が良い。水不足がない。 ○自転車道が便利 ○大型店の送迎バス・配達などが便利 ○大型店の近くは便利 ○道路が広く安心して歩ける ○近所の人が優しい 	<ul style="list-style-type: none"> ○冬に通勤時間がかかる、車の渋滞 ○子供の遊び場不足、安全面が心配。夜の治安に不安 ○JRの無人駅などは夜暗くて怖い ○都心アクセスが悪い、バスの便が少ない、マイカーがないと不便 ○大雨の際、洪水が心配 ○冬の除雪が大変、高齢者が外出しにくい。冬道の見通しが悪い、雪捨て場がない ○まちの風景が画一的 ○防犯上良くない空き家や空き店舗の増加 ○町内の高齢化、人の繋がりが薄い ○歩道や道路環境に問題 	<ul style="list-style-type: none"> ○大規模店舗だけでなく、小さな商店もあった方が良い ○高齢者が冬でも快適に歩ける環境が必要 ○空き家を安く、子育て世代に賃貸 ○郊外の空き地を貸し農園にできると良い ○地域の管理を、コミュニティ活動の企画なども含めて民間事業者に任せると良い ○バスを小規模化・便数を増やすなどアクセスの改善と利用者へのPR ○道外便は新千歳空港に集中しているため、丘珠空港を有効活用できると良い ○交通利便性の向上のための工夫（地下鉄駅からの巡回バス、バスの増発や利用促進、オフピーク出勤、乗り合いバス・タクシー等） ○市民の意見を聞く、町内会に高度な自治権を ○郊外にこれ以上市街地を拡大しない
共通	<ul style="list-style-type: none"> ○他の政令指定都市に比べ自然が多い ○北海道の中心。芸術・文化・スポーツの施設が多い ○計画的に整備されており、街並みが綺麗 ○積雪寒冷、地震が少ない ○児童会館が充実 	<ul style="list-style-type: none"> ○公共交通機関の運賃が、他都市より高い ○地域の高齢者等が交流できる場が少ない ○夜、茂みや公園等で危ない目にあいやすい ○地域のコミュニケーションが不足 ○観光地が少ない ○野球場以外のスポーツ施設が少ない ○公園が画一的 ○休憩スペースが使いづらい ○大学の近くに住んでいるため、学生がうるさい ○高齢になった際、介護等に不安がある 	<ul style="list-style-type: none"> ○ローカルな名所巡りなど、年代・町内会の枠を超えて地域の交流を促進。バス観光の活用。開拓の歴史や歴史的建物のPR ○子育て世帯と高齢者が関われるショッピングセンター、学校、空き家を活用した交流拠点 ○元気な高齢者の活用 ○高齢化社会に向けたスポーツ・イベント施設 ○治安の悪い場所のパトロール強化 ○生活相談できるコールセンターがあると良い ○公共交通をもっと使ってもらうため、料金を無料化できると良い ○自転車を利用しやすい環境整備 ○排雪を重点化・効率化、流雪溝の設置、空中歩廊など、冬期の利便性向上 ○雪を活用して、冬でも外出したくなるイベントを増やす ○省エネに対する補助を充実させてほしい ○最低賃金UPと雇用確保 ○ニーズに合った公共施設の配置と運営、自然エネルギーの利用 ○市民参加型の公園リフレッシュ工事 ○清潔な休憩スペース ○多様な世代が町内会の役員をやる、60代、70代がリーダーになれる社会 ○価値観・ライフスタイルの転換（車に頼らない暮らしなど） ○歩いて暮らせる生活環境の整備 ○託児所・保育所等の子育て支援施設

3. 意見のまとめ

